



自宅でもライブ会場の臨場感を。

株式会社ライゾマティクスとエヴィクサー株式会社が、自宅にしながらライブ配信と同期した演出を楽しめるライティングデバイス「Home Sync Light」を開発。

株式会社ライゾマティクス（本社：東京都渋谷区、代表取締役：齋藤 精一）とエヴィクサー株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長CEO：瀧川 淳）は、自宅にしながらライブ配信と同期した演出を楽しめる「Home Sync Light」を開発し、9月21日（月・祝）に行われた「P.O.P (Perfume Online Present) Festival」のスペシャルパフォーマンスにおいて、実証実験を行いました。

「Home Sync Light」について

「Home Sync Light」は、自宅などでライブ配信を視聴しながら楽しむことのできる、配信音源に高精度で同期して光るデバイスです。ライブの映像演出や、照明、レーザー等に合わせたLEDの光が部屋中に広がり、配信視聴体験をより臨場感あふれるものに拡張します。

これまでライブエンターテインメントの演出では、無線通信を利用した装着型LEDデバイス等が利用されてきました。COVID-19の感染流行により大人数が集まるライブ実施が制限される中、自宅で配信ライブを視聴する機会が増えています。自宅でも楽しめる、ライブ演出に同期するデバイスなどを提供する場合、事前にデバイスの設定が必要であったり、同期のためにスマホアプリをインストール、あるいは専用Webページからの視聴が必要だったり、体験者の負担や視聴環境の制約が大きいのが現状でした。

「Home Sync Light」では、エヴィクサー社による音響通信「Another Track(R)」を利用することで、デバイス単体で音声を通じて同期が行われます。デバイスの電源を入れて配信の音が聞こえるだけで、自動的にLEDの明滅が楽曲に同期して始まります。また、配信ライブを途中どこから視聴しても、おおよそ1秒以内に同期が完了します。



デバイスとの通信のために専用スマホアプリや特設ウェブページ等を利用しないため、配信プラットフォームを限定しません。
音響通信を利用しているため、今後、実際のライブとオンライン配信とが同時に行われた場合にも、会場と配信視聴で全く同じ光を楽しむことができ、一体感の向上が期待できます。

今回制作したデバイスは、円筒形の筐体にLEDを巻きつける形状とし、そのまま置いてライトスタンドのように楽しむことや、LEDを伸ばしてモニタに貼り付けるなど、自宅で多様な楽しみ方のできるデザインになっています。
また、内部の回路構成を変えずに、全く新たなデザインでオリジナル筐体を制作することも可能です。

実証実験では、「ABEMA」「ニコニコ生放送」「U-NEXT」「LINE LIVE-VIEWING」を通じた配信を、回線状況の異なる日本国内の約80箇所で視聴。確実に同期が取れ、また、配信ライブの臨場感向上に有効であることが確認されました。

今後、コンサートグッズやイベント演出としての展開を計画中で、事業パートナーも募集しています。
お問い合わせ先よりご連絡ください。



「Another Track(R)」について

ニューノーマル時代に向け音響通信「Another Track(R)」をバージョンアップしました。
これまでは、高い周波数帯域まで利用可能な配信サービスでしか利用できませんでしたが、今回のバージョンアップでその制限がなくなり、全ての配信サービスを対象に音響通信できるようになりました。
新しい「Another Track(R)」は配信時に施される圧縮や音域カットに耐性があり、テレビや複数のオンライン配信などマルチチャンネルへの同時発信も可能です。また、発信側の信号生成には、VSTプラグインでの提供が可能で、OBS Studioでのオンライン配信にも利用出来ます。
受信側はモジュール基板のみならず、スマホアプリに対応したライブラリの形式での提供にも対応しています。

「P.O.P” (Perfume Online Present) Festival」について

Perfumeのアニバーサリーイヤー締め括りの事業「Perfume 15th&20th anniv with you all」の第4弾としては実施された「P.O.P” (Perfume Online Present) Festival」は、Perfumeがメジャーデビュー15周年・結成20周年を迎える2020年9月21日に行われたPerfume初のオンラインフェスティバルです。

<https://perfume-popfes.jp/>

※実証実験はこちらよりご覧いただけます。

Rhizomatiks 公式 YouTube (限定公開)

<https://youtu.be/NCbTqoLCLXc>

株式会社ライゾマティクスについて

2006年設立。メディアアート、データアート、エンジニアリング、インターフェイスデザイン、プロダクトデザイン、建築、映像、音楽など、様々なバックグラウンドを持つ個性豊かなクリエイター、プロデューサーらを擁するプロダクション。既存の枠組みを越えたクリエイションにより、常に新たなフォーマットを生み出し続けている。

<https://rhizomatiks.com/>

エヴィクサー株式会社について

2004年設立。2008年、デジタルコンテンツ流通の隆盛をにらみ、他社に先駆けて自動コンテンツ認識技術「Evixar ACR」、音響通信技術「Another Track(R)」を開発。テレビ、ラジオ、映画、舞台、スポーツ、ライブエンターテイメント、防災などの分野へ応用。2017年、東京都ベンチャー技術優秀賞受賞。映画界のスタンダードとして「スマホアプリHELLO! MOVIEを使ったバリアフリー上映」「字幕メガネ」を定着させる。

<https://www.evixar.com/>

【プレスリリースについてのお問い合わせ先】

本デバイスに関するお問い合わせは以下にお願いいたします。

info_hsl@rhizomatiks.com

音響通信「Another Track(R)」に関するお問い合わせは以下にお願いいたします。

press@evixar.com

取材に関するお問い合わせ、プレス用画像等ご入用の方は以下にお願いいたします。

press@rhizomatiks.com